様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	岐阜薬科大学
設置者名	岐阜市公立大学法人

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
薬学部	薬学科	~~夜・通信~~			51.0	51.0	19	
（備考）　（備考）令和 6～8 年度カリキュラム								

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
薬学部	薬学科	~~夜・通信~~		46.5		46.5	19	
（備考）平成 29～令和 5 年度カリキュラム								

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
薬学部	薬学科	~~夜・通信~~	19		30.5	49.5	19	
（備考）平成 27・28 年度カリキュラム								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス（大学ホームページにて公開　https://www.gifu-pu.ac.jp/） 平成 28 年度以前は窓口にて閲覧可

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	岐阜薬科大学
設置者名	岐阜市公立大学法人

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公開　https://www.gifu-pu.ac.jp/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	アピ㈱代表取締役社長	令和８年４月１日 ～ 令和９年３月31日	経営分析
非常勤	前公立大学法人奈良県立大学副理事長兼学長	令和８年４月１日 ～ 令和９年３月31日	地域貢献
（備考） 理事会の意見や評価の結果は大学教育及び運営に反映させる。			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜薬科大学
設置者名	岐阜市公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ＜授業計画（シラバス）の作成過程＞ 学内教務事項を担当する教務委員会からの依頼により、各科目の担当教員が、 ●オフィスアワー　●各科目が求めるアウトカム・コンピテンシー ●各科目が養う資質能力　●評価方法　●教科書・参考書 ●講義方法　●関連科目　●授業計画　●成績評価 を設定し、シラバスを作成する。 ＜授業計画の作成・公表時期＞ 毎年 12 月～3 月作成、4 月公表

授業計画書の公表方法	シラバス（大学ホームページにて公開 https://www.gifu-pu.ac.jp/）

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） シラバスに明記している、各科目の ●試験の受験資格　●評価項目別配点　●評価基準　●追再試験 に基づき、科目の成績を合格・不合格に分け、合格をさらに優・良および可に区分し、単位を認定している。 なお、成績評価の基準は、予め学生に明示され、試験やレポートなどの適切な方法により評価している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

各学生の履修科目に基づき、下記算出方法により、ＧＰＡを算出している。

＜ＧＰＡの算出方法＞
優・良・可を、優（３点）、良（２点）、可（１点）と点数化し、

ＧＰＡ　＝　各科目の点数（単位数×成績点）の合計　÷　通計単位数

とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法	シラバス（大学ホームページにて公開 https://www.gifu-pu.ac.jp/）

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

令和 6～8 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。

■本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。

■薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、グローバル化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。

■薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。

■医療薬学コース 問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。

■創薬育薬コース 問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。

■生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療や創薬を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞

卒業するためには、６年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。

（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32 単位	154 単位	186 単位

＜卒業判定＞

学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成 29～令和 5 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。

■ 本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。

■ 薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、国際化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。

■ 薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。

■ 医療薬学コース　問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。

■ 創薬育薬コース　問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。
■ 生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞
卒業するためには、6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。
（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32.5　単位	154.5　単位	187　単位

＜卒業判定＞
学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成27・28年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞
薬学科：学士（薬学）の学位は、薬学科に6年以上在籍し、合計188.5単位以上を修得し、将来、以下の要件を満たす薬剤師及び臨床薬学研究者などに成り得る者に授与される。
１．　人と環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）を実践できること
２．　薬学領域に携わる人として広い教養と豊かな人間性を身に付け、国際化と情報化社会に対応できる英語力を身につけていること
３．　薬学の基礎および専門的な知識・技能を修得し、臨床現場に必要な技能や態度を修得していること
４．　科学的根拠に基づいた問題発見および問題解決能力を備えていること

＜卒業要件＞
卒業するためには、薬学科6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない

	基礎教育科目	専門教育科目	合計
薬学科	32.5　単位	156　単位	188.5　単位

＜卒業判定＞
学長が、教授会の審査の結果に基づき判断する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	シラバス、大学案内（大学ホームページにて公開 https://www.gifu-pu.ac.jp/） 学生便覧（学位規程）

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	岐阜薬科大学
設置者名	岐阜市公立大学法人

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページにて公開 https://www.gifu-pu.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	大学ホームページにて公開 https://www.gifu-pu.ac.jp/
監事による監査報告（書）	

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページにて公開　https://www.gifu-pu.ac.jp/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　薬学部

教育研究上の目的（公表方法：シラバス及び大学案内、大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/）

（概要）
薬学分野における最新の学理と技術を教授研究し、高度な知識・技能並びに豊かな人間性と高い倫理観を身に付けた優れた薬剤師及び臨床薬学研究者を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：　シラバス及び大学案内、大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/
学生便覧（学位規程）（平成 26 年度以前は大学窓口にて閲覧可））　）

（概要）

令和 6～8 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。

■本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。

■薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、グローバル化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。

■薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。

■医療薬学コース 問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。

■創薬育薬コース 問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。

■生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療や創薬を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞

卒業するためには、６年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。

（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32 単位	154 単位	186 単位

＜卒業判定＞

学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成29～令和5年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。

■ 本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。

■ 薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、国際化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。

■ 薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。

■ 医療薬学コース　問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。

■ 創薬育薬コース　問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。

■ 生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞

卒業するためには、6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。

（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32.5　単位	154.5　単位	187　単位

＜卒業判定＞

学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成27・28年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科：学士（薬学）の学位は、薬学科に6年以上在籍し、合計188.5単位以上を修得し、将来、以下の要件を満たす薬剤師及び臨床薬学研究者などに成り得る者に授与される。

1．人と環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）を実践できること
2．薬学領域に携わる人として広い教養と豊かな人間性を身に付け、国際化と情報化社会に対応できる英語力を身につけていること
3．薬学の基礎および専門的な知識・技能を修得し、臨床現場に必要な技能や態度を修得していること
4．科学的根拠に基づいた問題発見および問題解決能力を備えていること

＜卒業要件＞

卒業するためには、薬学科6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない

	基礎教育科目	専門教育科目	合計
薬学科	32.5　単位	156　単位	188.5　単位

＜卒業判定＞
学長が、教授会の審査の結果に基づき判断する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：シラバス及び大学案内、大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/学生便覧（学位規程））

（概要）

令和6～8年度カリキュラム

薬学部の理念と教育目標に基づいた薬学専門職業人を育成するために、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、１年次から卒業年次まで効率的で一貫した教育課程を編成し、人と環境にやさしい薬学教育を実施する。

(1)教育課程

■薬剤師として必要な人と環境に配慮できる豊かな人間性と確固たる倫理観・使命感を培う「ヒューマニズム教育」と「エコロジー教育」を意識した基礎および専門教育課程を編成する。

■基礎教育　薬学の基礎となる自然科学系科目、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する多様な人文社会科学系科目、国際グローバル化社会と情報化社会に対応できる英語力を重視した外国語科目、健全な身体を育む保健体育科目からなる基礎教育課程を編成する。

■専門教育　薬学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とし、薬学一般、有機化学系、物理化学系、生物化学系、衛生薬学系、情報系、医療基礎薬学系、医療専門薬学系、医療薬学コース・創薬学系育薬コースに区分した薬学専門科目を低学年から高学年にかけて系統的に配し、継続性のある専門教育課程を編成する。

■実習　科学的根拠に基づいて問題を発見し解決する能力、医療現場での実務および薬学研究に必要な技能を体得するための実習科目と研究力を身につける特別実習を重視した教育課程を編成する。さらに、その実施過程において、自己研鑽に努め、人材育成能力、薬剤師・薬学研究者として必要なコミュニケーション能力が身につくような教育課程を編成する。

■医療薬学コース　薬剤師として医療現場で必要な基礎知識・技能はもとより、実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

■創薬育薬コース　研究者・技術者・教育者として必要な基礎知識・技能はもとより、医療に関する教養、研究現場で必要な実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

(2)教育・学修方法

教育目標への到達に適した教育・学修方法として、少人数授業、アクティブラーニング、問題解決型学習等を取り入れた講義、演習、実習を行う。

(3)学修成果の評価

すべての授業科目について、それぞれの教育目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価する。評価方法には、筆記試験、レポート、プレゼンテーション、実技等が含まれ、教育目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

令和5年度カリキュラム

基本理念と教育目標に基づいた薬学専門職業人を育成するために、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、1 年次から卒業年次まで効率的で一貫した教育課程を編成し、人と環境にやさしい薬学教育を実施する。

(1) 教育課程

薬剤師として必要な人と環境に配慮できる豊かな人間性と確固たる倫理観・使命感を培う「ヒューマニズム教育」と「エコロジー教育」を意識した基礎および専門教育課程を編成する。

■基礎教育　薬学の基礎となる自然科学系科目、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する多様な人文社会科学系科目、国際化と情報化社会に対応できる英語力を重視した外国語科目からなる基礎教育課程を編成する。

■専門教育　薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本とし、薬学一般、有機化学系、物理化学系、生物化学系、衛生薬学系、医療基礎薬学系、医療薬学系、創薬学系に区分した薬学専門科目を低学年から高学年にかけて系統的に配し、継続性のある専門教育課程を編成する。

■実習　科学的根拠に基づいて問題を発見し解決する能力、医療現場での実務および薬学研究に必要な技能を体得するための実習科目と研究力を身につける特別実習を重視した教育課程を編成する。さらに、その実施過程において、自己研鑽に努め、人材育成能力、薬剤師・薬学研究者として必要なコミュニケーション能力が身につくような教育課程を編成する。

■医療薬学コース　薬剤師として医療現場で必要な基礎知識・技能はもとより、実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

■創薬育薬コース　研究者・技術者・教育者として必要な基礎知識・技能はもとより、医療に関する教養、研究現場で必要な実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

(2) 教育・学修方法

教育目標への到達に適した教育・学修方法として、少人数授業、アクティブラーニング、問題解決型学習等を取り入れた講義、演習、実習を行う。

(3) 学修成果の評価

すべての授業科目について、それぞれの教育目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価する。評価方法には、筆記試験、レポート、プレゼンテーション、実技等が含まれ、教育目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

平成 29～令和 4 年度カリキュラム

基本理念と教育目標に基づいた薬学専門職業人を育成するために、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、１年次から卒業年次まで効率的で一貫した教育課程を編成し、人と環境にやさしい薬学教育を実施する。

薬剤師として必要な人と環境に配慮できる豊かな人間性と確固たる倫理観・使命感を培う「ヒューマニズム教育」と「エコロジー教育」を意識した基礎および専門教育課程を編成する。

■基礎教育　薬学の基礎となる自然科学系科目、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する多様な人文社会科学系科目、国際化と情報化社会に対応できる英語力を重視した外国語科目からなる基礎教育課程を編成する。

■専門教育　薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本とし、薬学一般、有機化学系、物理化学系、生物化学系、衛生薬学系、医療基礎薬学系、医療薬学系、創薬学系に区分した薬学専門科目を低学年から高学年にかけて系統的に配し、継続性のある専門教育課程を編成する。

■実習　科学的根拠に基づいて問題を発見し解決する能力、医療現場での実務および薬学研究に必要な技能を体得するための実習科目と研究力を身につける特別実習を重視した教育課程を編成する。さらに、その実施過程において、自己研鑽に努め、人材育成能力、薬剤師・薬学研究者として必要なコミュニケーション能力が身につくような教育課程を編成する。

■医療薬学コース　薬剤師として医療現場で必要な基礎知識・技能はもとより、実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

■創薬育薬コース　研究者・技術者・教育者として必要な基礎知識・技能はもとより、医療に関する教養、研究現場で必要な実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

平成28年度以前カリキュラム

薬学科：薬学科の教育目標を達成するために、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、１年次から卒業年次まで効率的で一貫した教育課程を編成し、人と環境にやさしい薬学教育を実施する。

1.（基礎教育）薬学の基礎となる自然科学系科目、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する多様な人文・社会科学系科目、国際化と情報化社会に対応できる英語力を重視した外国語科目から成る基礎教育課程を編成する。

2.（専門教育）薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本とし、薬学一般、有機化学系、物理化学系、生物化学系、衛生薬学系、医療基礎薬学系、医療薬学系に区分した薬学専門科目を低学年から高学年にかけて系統的に配し、継続性のある専門教育課程を編成する。

3.（実習）科学的根拠に基づいて問題発見および問題解決能力を備えた薬剤師及び臨床薬学研究者を養成するため、薬学研究に必要な技術や方法を体得するための実習科目と特別実習を重視した教育課程を編成する。

4. 医療基礎薬学系と医療薬学系科目は、薬剤師として必要な基礎知識・技術はもとより、医療人としての教養、医療現場で必要な実践力が身につくように教育課程を実施する。

5. 人と環境に配慮できる豊かな人間性と確固たる倫理観を身につける「ヒューマニズム教育」と、常に環境を意識し地球環境を守る倫理観を養う「エコロジー教育」を意識した基礎および専門教育課程を実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：募集要項及び大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/）

（概要）

＜入学に関する受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）＞

（１）岐阜薬科大学が求める学生像

本学は、その理念に共感する次のような学生を求めています。

①医療機関、製薬企業、研究・教育機関、行政機関などにおいて、薬のスペシャリストとして活躍する薬剤師・薬学研究者へと成長する意欲と自主性をもつ学生

②健全な倫理観と基礎的なコミュニケーション能力を持つ学生

③薬学を学ぶ基礎としての高等学校教育における学力を十分に身につけた学生

（２）入学者選抜の基本方針

岐阜薬科大学は、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に学校推薦型選抜を実施しています。本学の入試では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書及び面接などを採用して志願者の能力や資質を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学案内・研究室案内及び大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
―	1・2 人	―					3 人
薬学部	―	24 人	10 人	16 人	16 人	2 人	68 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	55 人	55 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：研究室案内及び大学学術情報リポジトリホームページ

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
薬学部	120 人	136 人	113%	720 人	748 人	104%	0 人	0 人
合計	120 人	136 人	113%	720 人	748 人	104%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
学部	103 人 (100%)	9 人 (9%)	93 人 (90%)	1 人 (1%)
合計	109 人 (100%)	9 人 (9%)	93 人 (90%)	1 人 (1%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学内教務事項を担当する教務委員会からの依頼により、各科目の担当教員が、
●オフィスアワー　●各科目が求めるアウトカム・コンピテンシー
●各科目が養う資質能力　●評価方法　●教科書・参考書
●講義方法　●関連科目　●授業計画　●成績評価
を決定し、シラバス及び各科目の授業開始時に学生に対して周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
◆シラバスに明記している、各科目の、
●試験の受験資格　●評価項目別配点　●評価基準　●追再試験
に基づき、科目の成績を合格・不合格に分け、合格をさらに優・良及び可に区分し、単位を認定している。
なお、成績評価の基準は、あらかじめ学生に明示され、試験やレポートなどの適切な方法により評価している。

◆卒業の認定に係る評価基準

令和 6～8 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞
薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。
■本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。
■薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、グローバル化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。
■薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。
■医療薬学コース 問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床

研究を展開する能力を身につけている。
■創薬育薬コース 問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。
■生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療や創薬を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞
卒業するためには、6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。

（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32 単位	154 単位	186 単位

＜卒業判定＞
学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成 29～令和 5 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞
薬学科に所定の期間在籍し、本学の基本理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士（薬学）の学位を授与する。
■ 本学の基本理念である「ヒトと環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）」を理解し、実践できる。
■ 薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、国際化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。
■ 薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。
■ 医療薬学コース　問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。
■ 創薬育薬コース　問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。
■ 生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

＜卒業要件＞
卒業するためには、6年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない。
（両コース共通）

基礎教育科目	専門教育科目	合計
32.5　単位	154.5　単位	187　単位

＜卒業判定＞
学長が、教授会の意見を聞いて判断する。

平成 27・28 年度カリキュラム

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

薬学科：学士（薬学）の学位は、薬学科に 6 年以上在籍し、合計 188.5 単位以上を修得し、将来、以下の要件を満たす薬剤師及び臨床薬学研究者などに成り得る者に授与される。

1．人と環境にやさしい薬学（グリーンファーマシー）を実践できること
2．薬学領域に携わる人として広い教養と豊かな人間性を身に付け、国際化と情報化社会に対応できる英語力を身につけていること
3．薬学の基礎および専門的な知識・技能を修得し、臨床現場に必要な技能や態度を修得していること
4．科学的根拠に基づいた問題発見および問題解決能力を備えていること

＜卒業要件＞

卒業するためには、薬学科 6 年以上在学し、基礎教育科目及び専門教育科目について次の表に定める単位を修得しなければならない

	基礎教育科目	専門教育科目	合計
薬学科	32.5　単位	156　単位	188.5　単位

＜卒業判定＞

学長が、教授会の審査の結果に基づき判断する。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
薬学部	薬学科(R6 年度以降)	186 単位	有・無	単位
	薬学科（H27、H28 年度）	188.5 単位	有・無	単位
	薬学科(その他年度)	187 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：学生便覧及び大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
薬学部	薬学科	535,800 円	市内生 282,000 円 市外生 504,000 円	円 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 1～3 回生の研究室配属前は、担任及びアドバイザー 4 回生からの研究室配属後は、研究室主任 が主となって学生の相談を受け、各学生に応じた適切な指導を事務局と連携しながら行っている。 経済的支援としては、授業料等の減免制度や、学業成績や勉学姿勢が特に優秀な学生に対する本学独自の給付型奨学金制度を実施している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 学内での就職ガイダンスや卒業生による説明会の開催、各企業からの募集案内及びインターンシップ情報の掲示など、学生に対し様々な就職情報の提供を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 研究室主任や担任・アドバイザーが学生相談を行うとともに、保健管理センターでは健康診断及び保健指導、カウンセラーによるカウンセリング、健康相談、応急手当等を実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ https://www.gifu-pu.ac.jp/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。